

宗内寺院紹介 **5**

青蓮院門跡



青蓮院は、伝教大師が比叡山延暦寺を開くにあたって、山頂に作られた住坊の一つ「青蓮坊」が起源である。平安時代末期に、青蓮坊の第十二代行玄大僧正に鳥羽法皇が御帰依になり、その第七王子を弟子とされ、院の御所に準じて京都に殿舎を造営した。青蓮院と改称せしめられたのが門跡寺院としての始まりであり、行玄が第一世の門主である。別名を粟田御所ともいい、江戸時代には後櫻町上皇の仮御所となる。

ご本尊は熾盛光如来。国宝の『青不動明王三童子画像』は日本三不動の一つで、平安仏画の最高峰といわれる。庭園は、相阿弥作・築山泉水庭、小堀遠州作・霧島の庭、宸殿前の苔の庭等様々な庭園美を満喫でき、四季の彩りを堪能できる。また、春秋のライトアップの美しさも格別である。

青蓮院門跡

住所／京都市東山区粟田口三条坊町69-1

電話／075-561-2345

拝観時間／9:00～17:00(受付16:30終了)

拝観料／大人500円 中高校生400円 小学生200円